

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年 2月10日

【評価実施概要】

事業所番号	3770102816
法人名	有限会社サクラコーポレーション
事業所名	悠久の里 高松西
所在地	香川県高松市飯田町1334番地4 (電話)087-832-8333

評価機関名	社会福祉法人香川県社会福祉協議会		
所在地	香川県高松市番町一丁目10番35号		
訪問調査日	平成21年1月15日	評価決定日	平成21年2月10日

【情報提供票より】(20年12月10日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成	16年	3月	1日	
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人		
職員数	11人	常勤	5人, 非常勤	6人, 常勤換算	6.6人

(2) 建物概要

建物構造	木造瓦葺 造り
	1階建ての1階～1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	45,000円	その他の経費(月額)	9,000円+実費	
敷金	有()円	(無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有()円	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	270円	昼食	430円
	夕食	490円	おやつ	110円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要(1月15日現在)

利用者人数	18名	男性	4名	女性	14名	
要介護1	4名	要介護2	3名			
要介護3	6名	要介護4	5名			
要介護5	0名	要支援2	0名			
年齢	平均	83.8歳	最低	72歳	最高	95歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	キナシ大林病院 翼病院 坂東歯科クリニック
---------	-----------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当事業所は、利用者が自分自身を大切に、また他の利用者やスタッフ達と和やかに生活できる環境が整えられている。そのためか利用者は認知症の進行が、ゆるやかに生き甲斐を取り戻して、楽しく安心して暮らしている様子がうかがえる。また、このホームは地域の人達と日常的な交流や各種ボランティアを受け入れ、地域と一体となったオープンな運営が行われている。管理者は「将来、自分が入居したいグループホーム」を目指して、利用者本位のケアを職員と共に取り組んでいる。また、サービスや職員の資質の向上についても意欲的に取り組んでいる。例えば、各種研修会への職員派遣や、介護福祉士資格取得を積極的にバックアップしており、今年も多数の受験予定者がいる。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>南棟・北棟の職員が外部評価の結果をそれぞれで的確にまとめ、記録に残し、全員で改善に取り組んでいる。指摘された改善項目は、質の良いサービスと効率よいケアのために、今後もスタッフ一同の取り組みに期待したい。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>今回の自己評価については、南棟・北棟のスタッフ全員で意見を出し合い、今後の取り組み項目を明確にし、スタッフのチームプレーがうかがえる。今後のためには実践につなげていく継続的取り組みに期待したい。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議は隔月の偶数月に13時30分頃から地元民生委員・行政介護保険担当・地域包括センター・老人会会長・家族代表・ホーム代表・職員他で構成されている。内容はホームの状況、行事(花見・誕生会・母の日のプレゼントなど)、行政への質問、行政からの意見、外食支援、リハビリ、ターミナルケア、交流会などである。また、苦情相談は「第三者委員」を自治会長に依頼し、あらゆる面で具体的な取り組みがうかがえる。さらなる取り組みを期待したい。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>悠久新聞、2か月に1回のホーム便りや状況報告を郵送している。また、面会時には家族の意見を聞き、要望などがあればスタッフ一同で改善方法を検討し、質の向上に努めている。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>運営推進委員会の地域のメンバーの努力で地元の自治会との連携が取れており、ホームの行事、秋の祭り・花火大会・夏祭りなどにも参加している。地元の小学校・中学校の生徒が慰問にきたり、地域では野菜や果実を届けてくれる。食事の米を地元から分けてもらうなど、まさに地域の連携がうかがえ地域で孤立することなく、今後もさらなる取り組みに期待したい。</p>

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「地域の中でその人らしく生活することを支えるケア」が北棟の理念。「笑顔に心を込めて、気配り・目配り・心配り」が南棟の理念として各ユニットごとにつくりあげている。	○	「地域の中でその人らしく生活することを支えるケア」の具体的なイメージを考え、北棟、南棟共通の理念で統一し、現状にあった理念づくりを期待したい。(共通の理念をつくり、今の北棟、南棟の理念をサブテーマにするなど)
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取組んでいる	朝のミーティング時に必ず職員一同で唱和し再確認している。今後、実践の成果を期待したい。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の学校行事、文化祭に作品出品をしたり、積極的、意欲的に参加し活動している。地域の一員として継続的に実施することを期待したい。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は南棟・北棟のスタッフ全員で検討しサービスの質の向上に努めている。外部評価の結果はスタッフ全員に周知し、改善点については検討を加え具体的に取組む姿勢がうかがえる。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	前回の運営推進会議や家族の意見を活かせるよう検討事項や懸案事項について、経過を報告したり、これまでの評価結果を踏まえ、改善事項も説明し、意見交換をして柔軟な取組みをしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	介護保険の更新時には市担当者との意見交換が行われているが、質の向上のために具体的な実情、現場の問題などを伝達する積極的な機会をつくるまでには至っていない。	○	極力行政の担当者と関係を密にして、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、共に取り組む関係づくりを期待したい。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月の家族への手紙や新聞で、ホームの生活情報を報告している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会では職員は席をはずして家族同士で話し合ってもらう時間をとり、代表者の方に意見の伝達を依頼している。また、訪問時には常に意見をうかがい、意思疎通が図れる雰囲気づくりに努力している。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者、家族に信頼関係を築くためにも、馴染みのスタッフが対応するのが重要と考えている。異動や離職が止む得ない場合も引継ぎは十分に実施するよう努めている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	全職員が交代でいろいろな研修に参加できるよう努力をしている。また、研修に参加した者は内容の報告書を提出し、職員全員に回覧するなど周知できる工夫をしている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協会に加入し、他の施設との交流を通じて意見交換を行い、日々のケアに活かしている。また、地域の他施設や研修先で得たことを、日々職員に通知し勉強会や意見交換を行い積極的活動に努めている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前に自宅を訪問したり、見学に来ていただくなど、よい信頼関係づくりを重視している。利用者が徐々に馴染み、安心かつ納得して利用できるよう家族などにも協力を得ている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらかつ喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	支援する側、支援される側という意識を持たず、お互いが協働しながら和やかな生活ができるよう声かけしている。本人が地域の中でその人らしく暮らし続けられるように、職員は利用者とともに日々喜怒哀楽を共にしながら支えあっている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者がその人らしく暮らせるよう、本人の意向を聞きだす努力をしている。センター方式を活用し、スタッフ同士が情報を共有している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者がその人らしく暮らせるよう、本人の立場に立ったケアについて職員や家族などで意見を出し合い検討している。担当医師・看護師・リハビリ担当などの指示も仰いでいる。また、担当者会議での細かな事項や問題点を整理し、ケアプランに反映している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の期間に応じた見直しは勿論、本人の状態変化に応じた見直しも行っている。また、定期的カンファレンスを行い利用者個々の介護計画に沿った記録をも反映し、日々の暮らしに即した計画に見直している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者、家族の状況に応じて、通院時の送迎など必要な支援をおこなっている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人馴染みのかかりつけ医を利用させていただき支援をしている。緊急時にはその医師に連絡し指示をうけている。また、定期的にかかりつけ医の往診も実施されている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	特に終末期のあり方について家族とも十分話し合い、医師にもその旨を伝えている。その上で職員全員が関わり方について話し合い支援していくようにしている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員各自が声かけや対応について自覚しながら行っている。個人情報については秘密保持の徹底をしておき、スタッフ会議やミーティングの時に職員の意識向上を図り、対応の徹底に努力している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な一日の流れはあるものの、本人の気持ちを尊重し、できるだけ個別性のある支援に力を入れ、一人ひとりに合わせて支援を行う努力をしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	好みの食事を聞き出し、献立に反映している。食事の準備、後始末は利用者と一緒にいき可能な力を発揮していただいている。食事の準備を楽しみに待つ利用者や味付けを評価される方など、食事が楽しいものになるよう支援している。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本的には入浴日は決めているが、本人の希望や体調に合わせて調整している。足浴や清拭に変える場合もあり、利用者の状態により臨機応変に対応している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	得意なことをしていただき、お願いできそうな仕事を頼み、感謝の気持ちを伝えている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	できるだけ外出支援を行う機会をつくり、ホームの買い物、自分の好みの買い物など自分で支払いなどを極力してもらい気分転換もできるよう支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は玄関の鍵はかけない工夫をしている。そのため庭へ自由に出入りできるように配慮している。利用者が外出しそうな時には止めるのではなく、声かけ、気分転換(お茶のお誘い)などで落ち着けるよう工夫をしている。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	地域の協力体制については自治会にお願いしたり、運営推進会議で協力を呼びかけ、日頃の訓練も行い、実際の防火体制に備えている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	定期的に管理栄養士の専門的アドバイスをいただき、食事量や水分の摂取状況を毎日記録し、職員が情報を共有している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングには利用者の方々の日々の写真や作品、季節の花を生けて、楽しく暮らせる雰囲気づくりに努めている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には利用者の方々の家族の写真や、使い慣れた日用品やタンス、鏡台、椅子などがあり、自宅で居るような気持ちで過ごしていただける工夫をしている。		